

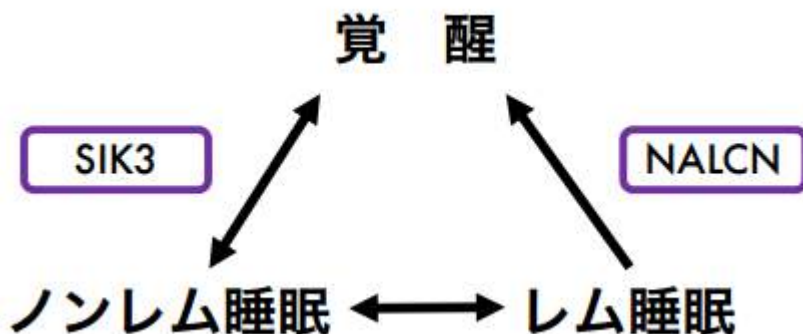
## 研究概要

- ランダムに突然変異を生じたマウスの睡眠を調べ、睡眠異常マウスの家系を樹立し、その原因遺伝子変異を同定することによって、SIK3とNALCNという新規の睡眠制御分子を見出しました。
- 同定された分子の解析を含め睡眠制御の全容解明を目指し、日夜実験に取り組んでいます。研究室では、遺伝学や脳波計測だけでなく、行動学、生化学、生理学、薬理学などの幅広いアプローチで睡眠を巡るミステリーに挑んでいます。
- 基礎研究から臨床へ応用できる研究にも力を注いでおり、疾患モデルマウスの作製やオレキシン受容体に作用する低分子量アゴニストの開発も進行しています。

さらに詳しい情報は→



睡眠異常スクリーニングにより発見した眠気を制御するキナーゼ  
SIK3とレム睡眠を制御するイオンチャネルNALCN



研究室見学は随時受け付けています